

# エンジニア初任給45万円

アステリア、1.5倍に

3～5人、即戦力を確保

ITシステム開発のアステリアは、2025年4月入社エンジニアの

新卒初任給を従来比1.5倍の45万円に引き上げる。主力のデータ連携ソフト「アステリアフープ」など自社サービスの開発を担うエンジニアを採用する。給与水準を海外の同業に近づけ、即戦力として働ける優秀な人材の確保につなげる。

採用予定人数は3～5人。同社は年俸制を適用している。25年4月入社エンジニアの年俸を540万円とし、ひと月に12分割の45万円を支給する。エンジニア以外の新入社員については従来通り360万円（年俸）とする。21年春入社から新卒採用を始めて以来、新卒でのエンジニア採用はゼロだった。給与水準を高め、同社の採用基準を

満たす高度な人材を呼び込む。IT業界では人材獲得のため、初任給を大幅に引き上げる企業が増えていく。同社の平野洋一郎社長によると「日本の給与水準は世界標準から大幅に劣る。昨今の円安の影響も加わり、海外の優秀なエンジニアの確保が非常に難しくなっている」という。

人材派遣会社ヒューマンリソシアの調査によると、日本のITエンジニアの平均年収は3万6061ドル（約564万円）で集計した72カ国中、26位だった。スイス（10万2839ドル）や米国（9万2378ドル）などから大幅に引き離されている。